

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	百貨店（販売担当）	販売量の動き	・好天が続き気温も高く推移したお陰で、夏物の商品の動きが非常に好調であった。また、「母の日」関連のギフトの需要も、昨年に比べ好調に推移した。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ半年以上、売上の伸びが続いている。来客数も前年比103%と3か月前に比べて良くなっている。
		スーパー（店長）	単価の動き	・先月と同様、昨年に比べ1点単価は低下傾向にあるが客単価は上昇傾向にあり、全体では改善傾向にある。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・週末には、中規模スーパーでも駐車場が一杯になっていた。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・客単価は前年比110%と上昇している。来客数は横ばい状態が続いている。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・前年より売上が増加している。
		乗用車販売店（統括）	お客様の様子	・新商品が出るため、それに向けての商戦が始まっている。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・予約、実績共に昨年度よりも良い数字が出ている。また、例年この時期に多い修学旅行についても、人数が増えてきている。
		観光型ホテル（経理総務担当）	販売量の動き	・2～3か月前と比較して、宿泊予約、宴会予約共に活発になってきている。宴会部門については、大型物件を含み好調に推移し、宿泊部門も堅調に推移しており、来月以降は特需的な予約が入っている。
		都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・客室、レストランの稼働はゴールデンウィークは期待値を下回ったが、後半はビジネス関連の利用が活発になっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊では来客数も客単価も前年並みである。宴会の利用は4月に選挙があったことで、官公庁の利用が5月にずれ込んだため、件数、売上共に増加している。
		ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・事前の予約数が増えた。遠方の客から問い合わせが多くなってきた。
		競艇場（職員）	来客数の動き	・例年より来客数が増加したことに伴い売上高も増加した。
		設計事務所（経営者）	販売量の動き	・今年の始めより工事着工件数が増えている。
		変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き
一般小売店〔印章〕（営業担当）	お客様の様子		・印鑑関係は、個人は良いのだが法人の注文が少ない。また注文の作成前に見積を尋ねてることが多く、経費節減の意向が強うかがわれる。	
百貨店（営業担当）	来客数の動き		・来店促進日やカード特招会などは集客ができ、売上に結び付いているが、平日の落ち込みが大きい。物産展などの催しによる、婦人服へのシャワー効果は近年薄れている。	
百貨店（販売促進担当）	販売量の動き		・3月下旬から昨年同月比で売上が伸びない状況がずっと続いている。テナントの中には良いところもあるが、全体的には売上が低調である。	
百貨店（売場担当）	販売量の動き		・5月の前半戦、ヤング系のきれいめ系が苦戦でサンダルの売上が前年比70%台で推移していたが、5月23日から流れが一転し、ミセス系のサンダルが前年比150%と急上昇し、トータルでなんとか前年実績に届いた。	
百貨店（売場担当）	来客数の動き		・来客数は前年より減少しているが、客単価が上昇している。原因として、セットで購入する客が増加したことが考えられる。	
百貨店（売場担当）	販売量の動き		・法人の買物は、経費削減などにより購買単価が低下しているが、個人の買物は高額商品の購入も増えている。	

百貨店（購買担当）	お客様の様子	・婦人服では、ヤング・ミセスの衣料品関係が好調である。特にヤングではトレンドと言われるワンピースの動きが良く、それに合わせて、小物・バック・靴・サンダル等も好調に推移している。ただし、子供服については単品買いの客が目立った。
スーパー（店長）	来客数の動き	・毎週末のチラシにおいて価格面を強化して広告していることもあり、来客数は前年並みと落ちつき、売上も前年比をクリアしている。
スーパー（店長）	単価の動き	・1人当たりの買上点数も、客単価も先月・先々月と同様に、横ばい状態である。
スーパー（店長）	販売量の動き	・単価は変わらないが、客の買上点数が増加傾向になりつつある。
スーパー（店長）	単価の動き	・客単価が前年比100%で推移している。先月が同99%と毎月1～2%の範囲内の推移で、ほぼ変化なしといった状況である。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・特売で超安価な単価を出しても飛び抜けて販売量や来客数が増えるわけでもなく、1人当たり単価も横ばいのまま推移しており、なかなか手ごたえがない。
スーパー（販売担当）	単価の動き	・商品が少しずつ入れ替わるのに従い、少しずつ値上がりしている。
コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数の動きは先月に引き続き順調だが、それ以外の弁当・おにぎり等の食品関係が少し落ちている。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・先月と同じく昨年並みである。主力製品の売上が今一つで、また季節商材の売上があまり良くない。新製品の中には製造が追いつかないくらい注文が入っているものもあるが、忙しいばかりで利益が伴っていない。
コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・105円でボリュームのある菓子のお買い得品を販売したところ、非常に良く売れた。客は本当に必要な物、価値ある物は購入するが、それ以外の物には手を出さない。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・今月はゴールデンウィークの動きが悪く、それを引きずってずっと悪い状態が続いてしまった。来客数・客単価共に悪い状態である。
衣料品専門店（地域ブロック長）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの後半に気温が上がらず、販売量が伸びなかった。
家電量販店（店長）	販売量の動き	・全体的には前年並みで推移している。特にデジタル家電が伸び悩んでいる。
家電量販店（店長）	単価の動き	・薄型テレビが前年と比較し、画面サイズは大型化した。平均単価が約15%ダウンしており販売額に影響している。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・5月度の販売台数は前年比85.6%と大変厳しい状況に変わりはない。
乗用車販売店（サービス担当）	販売量の動き	・新車の販売台数が前年比80%ぐらいでしか動いていない。
その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・土産品店において、客単価が低くなっているなど、都市部の好景気は、地方と関連性が無いような気がする。
その他専門店〔スポーツ〕（経営企画）	単価の動き	・既存店の客単価は前年比99.23%で傾向としては変わらない。
タクシー運転手	来客数の動き	・ゴールデンウィークの動きも良くなかったし、建設関係を含めて全体的に景気が悪いままである。
タクシー運転手	お客様の様子	・人出は多いがタクシーの乗客は少なく、売上も横ばい状態が続いている。客の話を聞いても、年金問題が不安でお金を使えないという声が多い。
タクシー運転手	来客数の動き	・ゴールデンウィークには客の動きが悪く、空車タクシーが多い。客待ちをするにしても、タクシーの数が多く場所を確保できない状態である。
タクシー運転手	来客数の動き	・先月に引き続き、業界に勢いが無い。日中の動き・夜の繁華街の動き共に伸びていない。それを補っているのは、観光と各種イベント開催であり、繁華街も週末の夜だけは活気づいている。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・光サービスへの移行は少し鈍化している傾向にある。

	通信会社（総務担当）	お客様の様子	・契約獲得は計画を下回っているが、前年並みの水準で推移している。解約についても前年並みの水準である。
	テーマパーク（財務担当）	来客数の動き	・もともと学校・団体の来園が多い時期であり、今年も前年並みの状況であるが、その他の集客が伸びていない。
	テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・連休後も春らしい気候が続いている割には、土・休日の利用が少し伸び悩んでいる。
	設計事務所（経営者）	販売量の動き	・新年度に入り、公共事業の発注もまだで、民間においても中小企業対象の物件は動きが鈍い。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注販売において、ゆっくりとだが、動きが鈍くなってきている。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街の来街者が減少している。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客が商店街に来る頻度が少なくなっている。特に土日の来客数が大きく減ってきていることが気掛かりである。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	来客数の動き	・どの業種の店舗も来客数が悪いように思われるし、街中の人の動きも良くない。
	一般小売店〔紙類〕（経営者）	お客様の様子	・客の消費する時としない時の差がはっきりと出てきていて、購買行動が微妙に変化している。
	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・ゴールデンウィークの売上が伸びなかった。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・3～5月にかけて、来客数の落ち込みが目立ち、売上高も減少した。過去と比較すると客数のアップ・ダウンの繰り返しはあったが、直近の3か月を見ると、明らかに下降線を描いており、消費マインドの冷え込みを強く感じている。
	百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・美術、宝飾等の高額品の動きが極めて悪くなってきている。ファッションについても、紳士服ではビジネススーツ、婦人服では40～50代のミセスゾーンの低迷が顕著である。来店顧客も単品購買が主体となり、来客数以上に客単価の落ち込みが厳しくなっている。
	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・来客数が減少しているわけではないが、ヤングファッション、化粧品など売上規模の比較的大きい商品群が前年を下回り、全体を引き下げている。
	スーパー（店長）	来客数の動き	・お菓子・文具といった低単価の商品を購入するために来店していた、学生など低年齢層の来客数が減少している。
	スーパー（財務担当）	競争相手の様子	・競合店の出店の影響により、一部の店舗で価格競争が激しくなり利益率が低下している。また、客単価が若干低下している。
	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・客単価は前年比で見てもほぼ同じである。来客数は最近あまり変化はないが、競合店やドラッグストアの出店などが響いて、前年比で見ると1.5%ダウンしている。オーバーストアの感もぬぐえず、厳しくなっている。
	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・どの服飾メーカーの話も「連休明けから特に低調だ」で一致している。
	衣料品専門店（販売促進担当）	来客数の動き	・今月は売上・来客数共に前年比8割くらいで非常に落ち込んでいる。特にゴールデンウィーク前半は良かったが、後半になって客足が止まり、その後も来客数が少ない。
	家電量販店（予算担当）	販売量の動き	・単純に前年同月と比較すると、やや落ち込んでいる。これは前年の6月9日よりワールドカップが開催されており、その影響で映像商品が大きく伸びたことの影響による。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車販売は前年比80%台で推移しており、4月から特に悪くなっている。
自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・ここまで堅調な動きであったタイヤや一般のセルフ商品等の動きも良くない。また高額品であるナビゲーション等の販売数量も期待ほど伸びていない。全体的にゴールデンウィーク中の落ち込みが厳しく、月末にかけての回復も緩やかであった。	
住関連専門店（広告企画担当）	単価の動き	・二極化が更に進んでいる。単純に価格帯だけを追いかける客の数が増えてきた。今後の広告等の表現方法や価値の伝達方法に注力が必要である。	

		その他専門店 [布地] (経営者)	来客数の動き	・大型連休で街に出る人が少なく、商品の動きが悪かった。
		その他専門店 [カメラ] (店長)	来客数の動き	・来客数が前年に対して80%台前半で推移した。
		その他小売 (営業担当)	販売量の動き	・ゴールデンウィーク以降極端に販売量が減少した。
		一般レストラン (店長)	来客数の動き	・週末、日曜日にファミリーが減少傾向にあるのが切実である。客単価の低下も歯止めが掛からない。
		スナック (経営者)	来客数の動き	・月初めの大型連休は客がなく暇であった。連休は家族サービスに忙しくなるため、我々の業界には休みが少ない方が良い。
		その他飲食 [ハンバーガー] (経営者)	来客数の動き	・店舗により相違があるが、全体的に見ると来客数の伸びが減少傾向にある。
		通信会社 (社員)	販売量の動き	・3か月前と比べて、販売量・来客数共にやや悪くなっている。
		テーマパーク (広報担当)	来客数の動き	・ゴールデンウィークの入込客が、大幅に落ち込んだ。周辺の無料観光エリアは大幅に増えており、有料施設は敬遠されているようだ。
		美容室 (経営者)	競争相手の様子	・競合店が安売り合戦を始めて、単価を落とさないと客が来ない状況になっている。当店も他の店に客が流れている。
		美容室 (経営者)	単価の動き	・客単価が伸び悩んでいる。理由はわからないが、高いものは売れないということと、天候不順が影響しているようである。
		設計事務所 (経営者)	単価の動き	・資材単価及び固定費の上昇を価格に転嫁することが難しく、対象客の収入の増加が無く、販売全体が苦戦している。
		設計事務所 (経営者)	競争相手の様子	・新年度が始まってから2か月が過ぎたが今年度の受注見込みが全く立たない。廃業あるいは事業の縮小の話が多数聞こえてきた。
	悪く なっている	商店街 (代表者)	来客数の動き	・来客数の減少が著しい。全国の中心市街地商店街と同様に空き店舗率が3割以上あり、偏った業種になっていることも要因として考えられる。
		商店街 (代表者)	来客数の動き	・例年5月はゴールデンウィークの浪費がたたって消費は落ちるのだが、今年は下旬になり、極端に来街者が減少した。
		商店街 (代表者)	来客数の動き	・ゴールデンウィーク明けの来客数が少ない。
		都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・ゴールデンウィークが明けてからのビジネス客の動きが少ない。
		通信会社 (総務担当)	お客様の様子	・全般的に販売量の伸びが鈍化している。実質所得の増加感が無く購買力にも陰りが出始めており、サラリーマン減税・ローン減税廃止などの影響もある。
企業 動向 関連	良く なっている やや良くなっている	-	-	-
		鉄鋼業 (総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・海外を中心に受注量が増加している。ただし、為替が円高に触れれば、再度、輸出品は競争的には厳しくなる。
		金属製品製造業 (総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・鉄原料の値上がりによって、収益性が悪化してきたため、得意先に値上がり分の価格転嫁の交渉を行ってきたが、その分は認めてもらえた。得意先が価格より納期を優先して利益を上げようとしている。
		電気機械器具製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・携帯関連は、夏場の商戦に向けて各メーカーとも新機種投入を積極的に行う予定である。自動車関連も国内・海外とも受注高止まりで減速のきざしは見当たらない。
		輸送用機械器具製造業 (経理担当)	取引先の様子	・5月に量産開始の新製品が順調に立ち上がった。
		その他製造業 [スポーツ用品] (総務担当)	受注量や販売量の動き	・レギュラー及び別注品の動きが活発化しており、今後も増加する見込みである。ただし価格については同業者間の競争が激しく、価格調整は難航している。

	通信業（営業企画担当）	受注量や販売量の動き	・前年度後半から金融系を主体に企業ネットワークの整備・再構築が続き、順次ほかの業種にも広がり始めている。ただし、低単価のサービス利用が大半で通信業界の収支的にはまだ好調とは言えない。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・例年5月は売上高が不振になる事業所が多いが、今年は全般的に大きく売上高を落としたところは見受けられなかった。特に製造業は、落ち込みの幅が若干少ないように感じる。	
変わらない	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・生産量、出荷量共に先月と大きな変化はなく、安定しており社内は全般的に高稼働率を維持している。物流費・原燃料費高等の影響を受けながらも好景気の影響で、利益が出ている。	
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・生産量・販売量とも最近、横ばいが続いている。ただ、ガソリンの値上げがジワジワこたえている。	
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・北米を中心とした海外向けの自社製品の売上が好調に推移しているものの、国内向けについては市場の悪化に伴い売上が伸びない状況が続いている。	
	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量も相変わらず少なく、最近では価格面でも非常に厳しい。	
	金融業（営業担当）	取引先の様子	・本当に底ばいの感がある。経営者と話をしても、土木建設業は全く仕事がない。物販・小売業についても、あまり物が動いていない。大都市は良いが、地方には恩恵が全くみえてこない。	
	金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・主要取引先の輸出好調を受けて、受注は高水準で推移している。設備投資による増産効果に加え、コスト削減の効果も加わり増収・増益基調を継続している。	
	その他サービス業〔清掃具レンタル〕（情報管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・麻疹の患者発生数増加報道により、客からの手洗い方法の問い合わせが増えている。	
やや悪くなっている	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・クライアントである地場の自動車産業の生産計画がやや伸び悩んでいるということで、人材派遣の要請も減少している。	
	輸送業（統括）	受注量や販売量の動き	・4～5月にかけて、入札の結果、他業者に移行する業務があるためやや悪い。	
悪くなっている	-	-	-	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（担当者）	採用者数の動き	・後半の新卒向けの合同企業説明会への問い合わせが多い。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・大手製造業2社のプラント建設と定期修理が重なり、約5000人の作業員が増え、地元ビジネス系ホテルや旅館に6月中旬ころまで滞在することになっている。そのため一般団体客等の宿泊がとれない状況になっている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・本学への求人企業数が、昨年同時期に比べると14%多い。
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・求人倍率は依然高いが、登録者は前年比100%で推移している。特に女性の事務職希望の登録者は前年と比較しても多くなっていることから、求人の職種に大きな偏りがあり、事務職希望の方にとっては厳しい雇用環境であることがうかがえる。	
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・広告費・交際費・交通費の3Kに対しても、依然厳しい状況が続いている。一部で賃上げもあったが、これはごく一部の企業にとどまっている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人は、新規オープンビジネスホテルからの大量募集があったものの、前年度比で減少した。特に、製造業や医療福祉業での減少が目立った。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は若干の上昇傾向にあるが、退職者等の補充求人が多く景気が上向きになったとは言えない。	
	職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・新規求人数については、ほぼ横ばいの状況にあったが、月間有効求人については、前年比2けたの伸びを示している。企業の採用意欲はおう盛である。	
	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・製造メーカーでの先行開発人材の採用、現業務に支障は無いが将来の礎を築くための経理部員の増員など、今すぐにビジネスにならない投資的な採用が幾つか見られた。余裕が少しずつ出始めたのではないが。	

	民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・企業側が正規雇用の求人数の枠があるのに、採用基準を下げてまで充足しようとしないので正規雇用増につながらない。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-